

第31回 卒業式・青経祭

平成 15年 8月 1日(金) / ウェスティンナゴヤキャッスル 天守の間

第29青経塾「夢・情熱・感動、そして未来へ」

第30青経塾「輝け魂！」



『新たなる挑戦』

平成 15年 8月 1日、ついに迎える卒業式。厳しく永い100日修行を終えた第29・30青経塾の卒業生らの胸中に飛来する思いは三年間の汗と涙を礎とした「心の叫び」。その思いをそれぞれの卒業テーマに託して、緊張感溢れる決意表明は始まった。抱えきれないほどの思いから小刻みにふるえる握りしめた拳からは、その場にいる者全てを凌駕するほどの感動が伝わり胸を熱くする。希望に向かい、新たなる試練に果敢に挑むその姿からは、次代の担い手の誕生を感じさせた。卒業生からの「感謝」の気持ちを受けて、登壇された塾主からは「決意」を表に顯わすことの「深さ」の意味を一石の礫と共に教え頂き、塾生全員が襟を正す。経営に携わる者はいつ何時にでも、胸に秘めた思いを「決意」として意思表明できなければその資格がない!! 私はどうだ、卒業までジャスト2年。あの壇上で胸を張り意思表明できるほどの覚悟が本当に落とし込めるのか?この1年、青経塾生として何処まで成長できたのか?このままで良いのか?私自身にかせられた課題の大きさに身震いを感じ、自問自答をくり返しながらステージは青経祭会場へ。



昨年の卒業塾、27塾がPを務めた青経祭テーマは「新たなる挑戦」。青経塾30周年を終え、新たなる歴史のスタートとなるべく掲げたこのテーマに、卒業生は自らの決意を重ね合わせながら花道を意気揚々と入場。卒業式会場とは一変した表情の中に、ことを成し遂げた誇りと、清々さが一杯に溢れる。

『共に輝く!』

塾主を囲んで歓談の後に、寸劇会場へと場所を移す。多くのヤジの中「好敵手 ソニー vs 松下」の合同寸劇が繰り広げられる。年明け間近からの稽古で磨き上げられた、卒業生に迷いはない。第29青経塾が松下、第30青経塾がソニーに扮し役に徹して演じきる。3場面で構成された合同寸劇のテーマは「共に輝く!」。



共に磨きあうライバルの大切さ、変わらぬ理念と志の重要性を盛り込み、涙あり、笑いあり、感動ありの構成内容で見応え充分。家電2大企業の成長の姿を、青経塾生ひとり一人にオーバーラップさせ幕は下りた。そして、送り出し。「緊張、感動、躍動、歓喜」全てを呑み込み、全てを吐き出す様な感動の終演。熱い「気」が渦を巻く会場内で繰り広げられるエンディング。壇上で新たなるスタートに心をふるわす卒業生を、温かくも厳しく先輩塾生の祝賀の大波が待ち受ける。揉みくしゃにされながら歪んだ顔は3年間の勲章だ。この日を原点として「新たなる挑戦」へ再出発された29・30塾の卒業生の皆さんおめでとうございます。そして、この歓喜の時を共有させていただきありがとうございます。私自身も「2年後の卒業」を決意した1日となった。

<第31塾 加藤 忠>

緊張、感動、躍動、歓喜